

(決算説明資料)

# 2019年3月期決算について

2019年4月24日

JFEコンテナ株式会社

# 連結經營成績

# 連結経営成績

## 【連結経営成績①】

(単位:百万円)

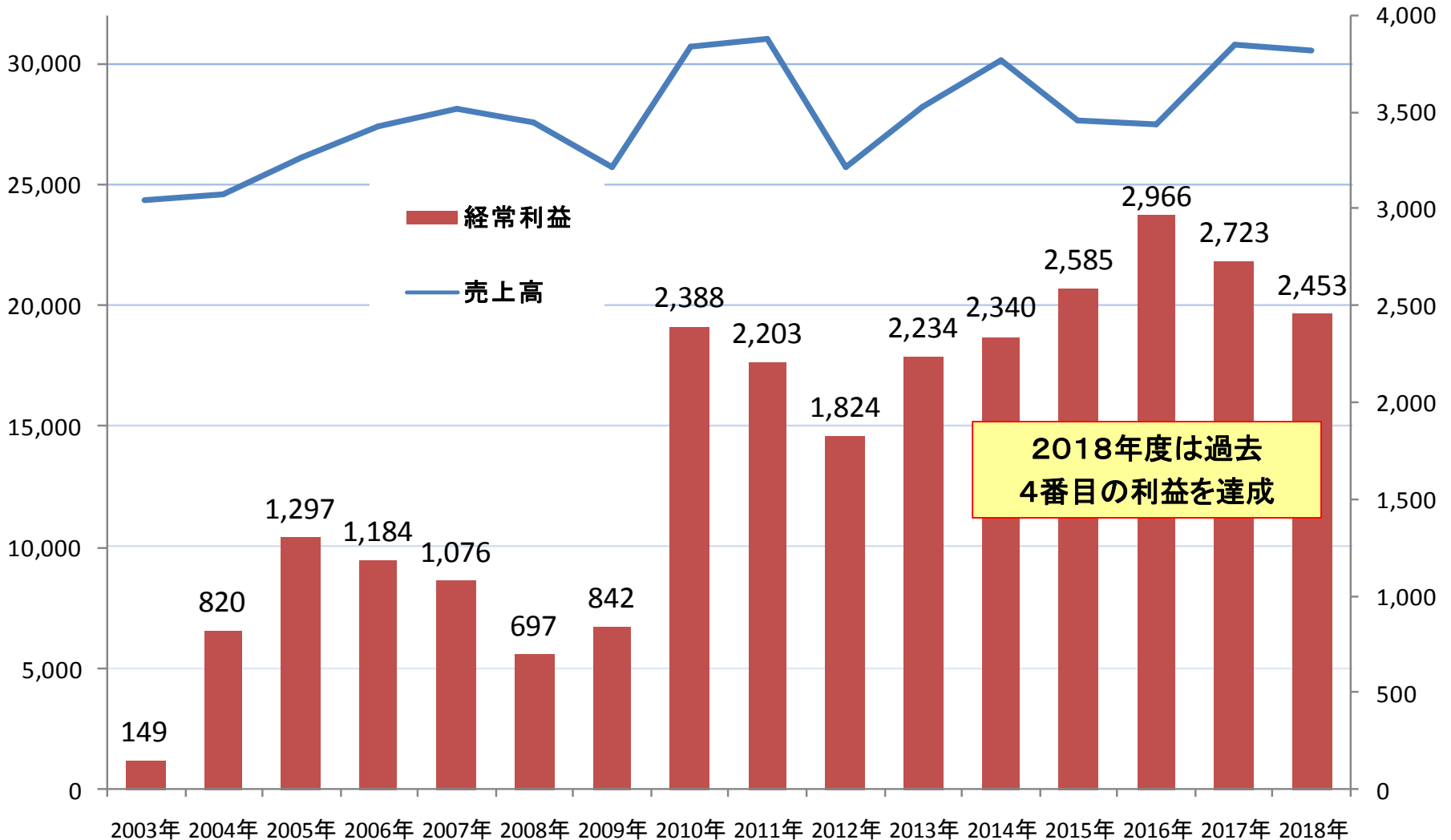
	2017年度	2018年度	対前期増減率 (%)
売上高	30,763	30,546	△ 0.7
営業利益	2,630	2,324	△11.6
経常利益	2,723	2,453	△ 9.9
当期純利益	1,953	1,718	△12.0
(ROS:%)	( 8.9%)	( 8.0%)	

- ・売上高・・・国内・中国でのドラム缶販売価格の値上げはあるが、元安による中国売上高の為替換算差影響や販売数量の減少で減収となった。
- ・利益関係・・・販売価格の値上げが鋼材価格の上昇に届いておらず、人件費や副資材・エネルギーコスト・運送費の上昇分の販売価格への反映も道半ばとなったことに加え、第6次中期経営計画の主要課題である「競争力強化・成長基盤整備」のために人と設備に経営資源を集中投入、人材育成や働き方改革、設備投資と計画的な大規模修繕、研究開発への投資により前期に対し減益となった。中国ドラム事業は黒字化した。

# 連結経営成績

【売上高・経常利益推移】

(単位:百万円)



2018年度は過去  
4番目の利益を達成

# 連結経営成績

## 【連結経営成績②】

	2017年度	2018年度	対前期増減
1株当たり 当期純利益	682.02円	600.04円	▲81.98円
自己資本 当期純利益率(ROE)	7.9%	6.6%	▲1.3%
総資産 経常利益率(ROA)	7.3%	6.4%	▲0.9%
売上高 営業利益率	8.6%	7.6%	▲1.0%

# ドラム缶販売数量

# ドラム缶販売数量

## 【200Lスチールドラム缶販売数量】

(単位:万缶)

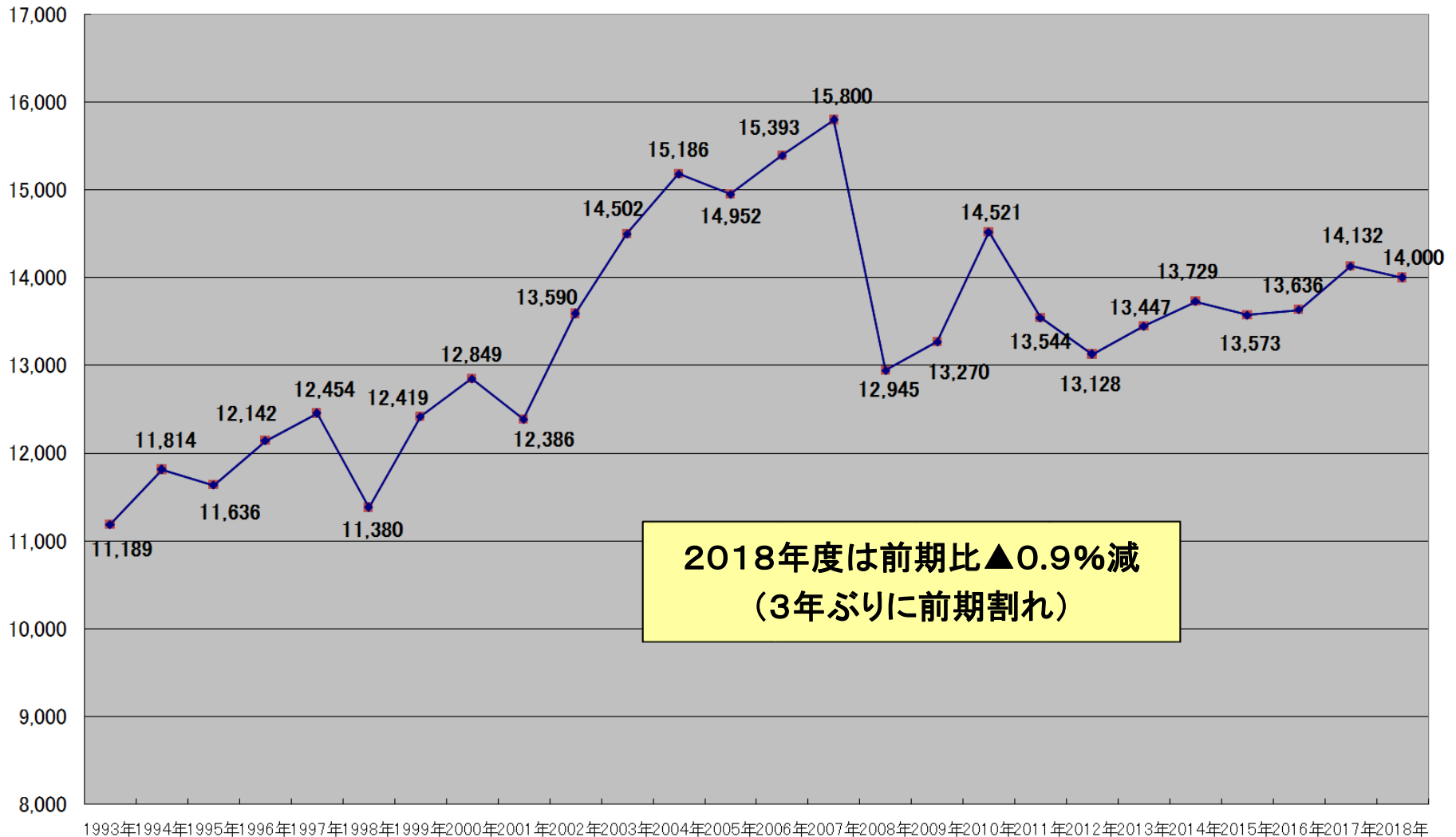
	2017年度	2018年度	対前期増減率 (%)
全国200Lドラム缶 販売数量	1,413	1,400	△ 0.9
当社グループ ドラム缶販売数量 (国内+中国)	981	976	△ 0.5

- ・2018年度の当社グループのドラム缶販売数量は、過去2番目の976万缶で、国内・中国とも前期に対し微減となった。

# ドラム缶販売数量

【全国200Lスチールドラム缶販売数量】

(単位:千缶)

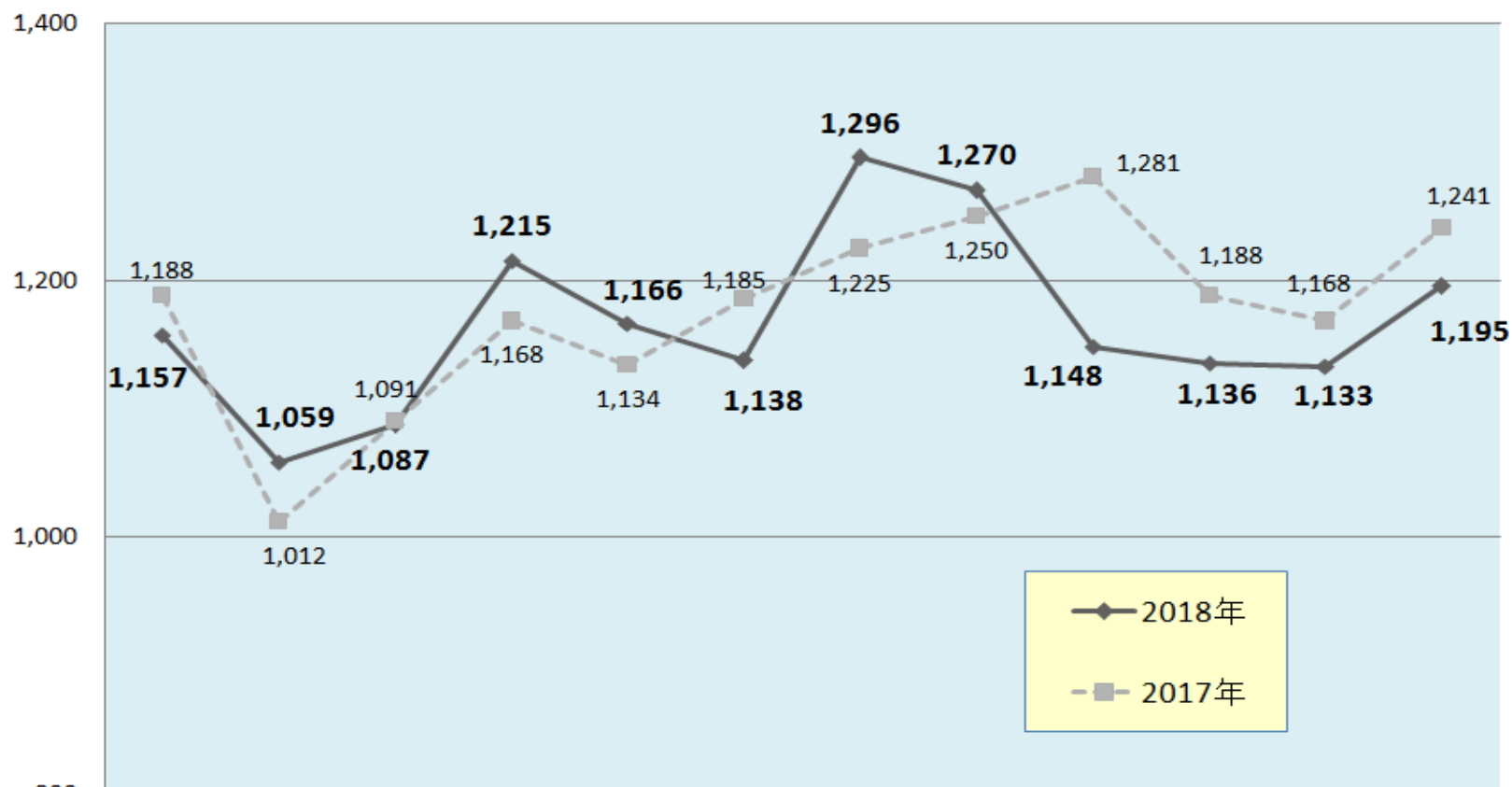




# ドラム缶販売数量

【全国200Lスチールドラム缶 月別販売数量】

(単位:千缶)



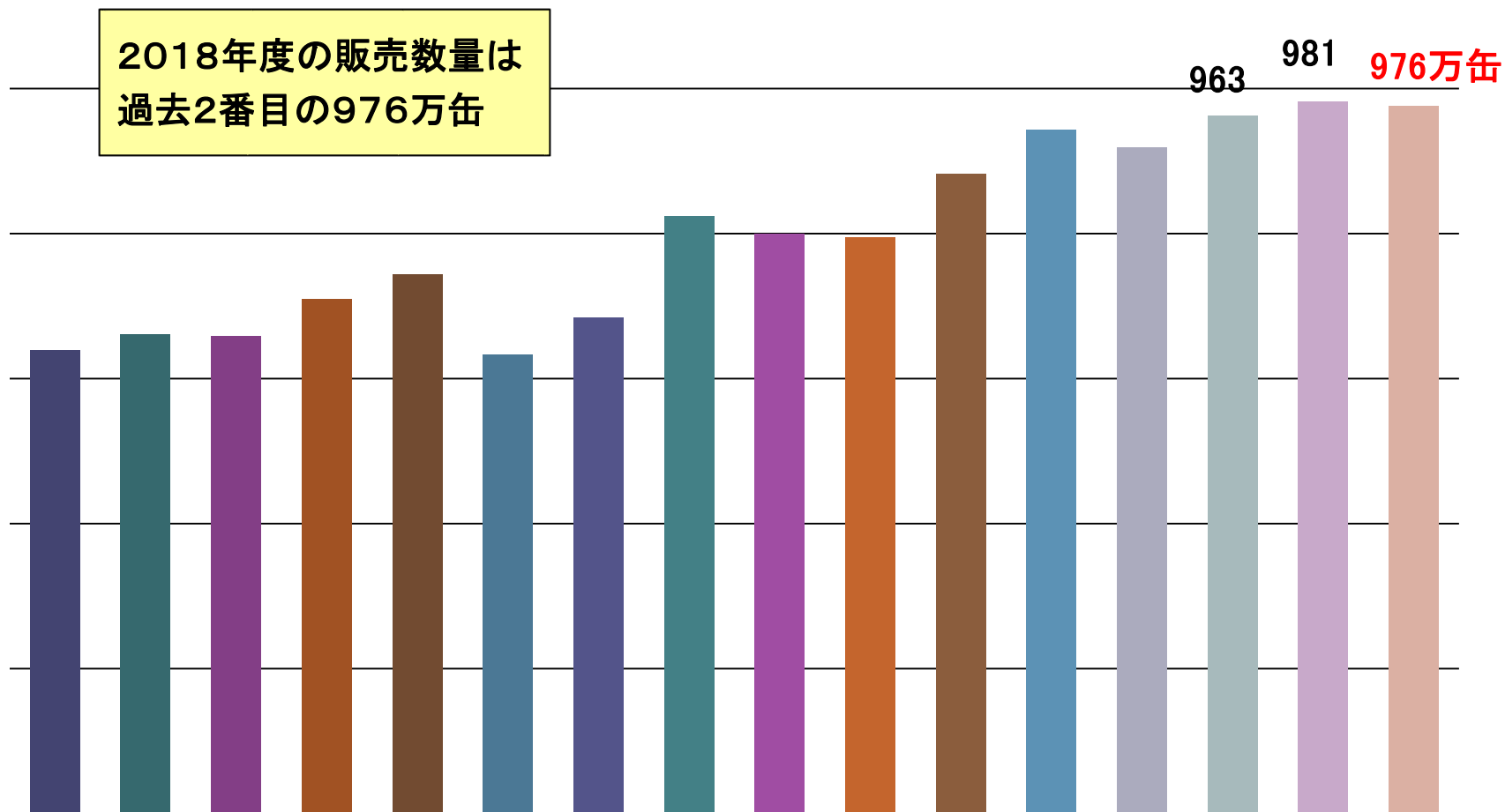
◆ 2018年	1,157	1,059	1,087	1,215	1,166	1,138	1,296	1,270	1,148	1,136	1,133	1,195
■ 2017年	1,188	1,012	1,091	1,168	1,134	1,185	1,225	1,250	1,281	1,188	1,168	1,241

2018vs2017	97.4%	104.6%	99.7%	104.0%	102.8%	96.0%	105.8%	101.6%	89.7%	95.6%	97.0%	96.3%
------------	-------	--------	-------	--------	--------	-------	--------	--------	-------	-------	-------	-------

# ドラム缶販売数量

【当社グループドラム缶販売数量推移】

(万缶／年)



# 連結財政狀態

# 連結財政状態

(単位:百万円)

	2018年3月期	2019年3月期	増減
流動資産	20,689	21,179	490
固定資産	17,763	17,173	▲590
資産合計	38,452	38,352	▲100
負債 (うち借入金)	11,225 (2,079)	10,331 (1,499)	▲895 (▲580)
純資産 (うち利益剰余金)	27,227 (17,693)	28,021 (19,017)	795 (1,324)
負債純資産合計	38,452	38,352	▲100

自己資本比率	66.7%	69.2%	財務体質は良好な状態を維持
1株当たり純資産	8,959.97円	9,271.12円	

# 連結キャッシュ・フローの状況

# 連結キャッシュ・フローの状況

(単位:百万円)

	2018年3月期	2019年3月期	増減概要等
営業活動による キャッシュ・フロー	1,762	2,417	仕入債務の減少 法人税支払減等
投資活動による キャッシュ・フロー	△899	△895	
財務活動による キャッシュ・フロー	82	△892	借入金返済等
現金及び現金同等 物期末残高	5,419	5,980	CMS預け金増

◆ 堅調な業績を背景に現金及び現金同等物増加

**2020年3月期連結  
業績予想について  
(2019年4月1日～2020年3月31日)**

# 2020年3月期連結業績予想

国内経済は回復傾向が持続、中国も経済成長率は鈍化傾向にあるが、当社グループの主要需要家である化学石油業界は高水準の生産を続けており来期のドラム缶需要は底堅いと予想される。



しかしながら、鋼材をはじめとする原材料価格は不安定で、エネルギーコスト・運送費の上昇が収益に与える影響は不透明な状況にある。



従って現時点では合理的な業績予想の算定が難しいことから、2020年3月期の連結業績予想は未定とし、可能となった時点で速やかに開示を行なう。



# 配当の状況

# 配当の状況

	2018年3月期	2019年3月期	2020年3月期
年間配当金 (円/株)	※125	125	未定
配当金総額 (百万円)	357	357	
連結配当性向 (%)	18.3	20.8	

※株式併合(2017年10月1日付)後で換算・表記

→ 2018年3月期=中間:5円(株式併合前)+期末:75円(株式併合後)

- ・ 2020年3月期の配当予想は、7月の第1四半期決算発表時に業績見通しと合わせ開示したい。

(参考)

# 第6次中期計画達成状況

# 第6次中期経営計画達成状況

## 【2018年度実績と中期経営目標】

	2018年度実績	中期経営目標 (2020年度)
① ドラム缶販売数量	9,760千缶	11,000千缶
② 売上高	305億円	320億円
③ 経常利益	24.5億円	30.0億円

	2018年度実績	第6次中期経営計画 (2018～2020年度)
① 設備投資・修繕費	中期計画通り	2015～2017年度実績比 50%増
② 研究開発費		

- ・第6次中期経営計画初年度の2018年度は、ドラム缶販売数量は中期計画で想定した当該年度の数量に及ばなかったが他の項目(売上高、経常利益、設備投資・修繕費、研究開発費)は目標としたレベルを達成した。
- ・高圧ガス容器事業はFWマシン及び硬化炉の投資を実施、稼動を開始した。
- ・2019年度のドラム缶販売数量は10,000千缶超達成を目指す。

以上